

## ヨハネの疑い

マタイによる福音書一章19節

ヨハネは牢の中でキリストのなされたことを聞いた。そこで、自分の弟子たちを送って、尋ねさせた。「来るべき方は、あなたですか。それとも、ほかの方を待つべきでしょうか。」(2、3)

バプテスマのヨハネは、ヘロデ王の罪を非難したために投獄されていました。かつて、イエスこそ来るべきメシアであると人々に紹介したヨハネが、今、「果たして本当にイエスがメシアなのだろうか」という疑いに囚われていました。風の便りに聞こえてくるイエスの働きは、必ずしも人々が期待していたようなものではなかったからです。イエスはこの質問に対し、イザヤ書などに記されているメシア預言が成就している事実を報告するようにと言われました。「私こそ、聖書に預言されているメシアである」と宣言されたのです。この確かな言葉により、ヨハネの心の迷いは晴れ、安んじて目を閉じることが出来たのです。私たちの心にも、「イエスは本当に救い主だろうか」という疑いが生じることがあります。そのとき、鳩のような素直な心で最も確かな神の言葉に耳を傾けたいと思います。